

# これまでの検討結果まとめ（主な整備方針）

## 観客席

### 観客席仕様

- アクセスしやすい箇所に「車いす使用者席」・「同伴者席」・「優先席(付加アメニティ席)」を設置。同伴者席・優先席は、原則、可動式とし、スペースの対応
- 観客席階段には、手がかりを設置（通路幅員が確保できない場合等を除く）
- 観客席階段の注意喚起の点状ブロックについて、スペースの都合上段鼻との離隔が取りにくい場合は、二列を一行にするなどしてなるべく設置（狭あい部を除く）
- 階段段鼻にはコントラストを付けて視認性確保
- 電動車いす用コンセントを、各サイドの車いす席・同伴者席のうちの一箇所程度に原則設置

### サイトライン

- 車いす使用者席前列の観客が立ち上がった場合でも、車いす利用者のサイトラインを原則確保

### 分散配置 (車いす使用者席)

- サイトラインの確保等に留意しつつ、車いす使用者席を垂直水平分散にて配置。既存施設で避難ルート  
の確保が困難な場合などは、水平分散を実現

## トイレ

### 機能分散

- 新施設においては、利用者それぞれに対応した「車いす対応トイレ（大型ベッドを付加したもの  
含む）」・「異性介助用の男女共用トイレ」・「手すり付トイレ」・「オストメイト対応トイレ」・  
「乳幼児対応トイレ」を用意
- 既存施設でも車いす対応トイレの利用集中を緩和するため、「手すり」・「オストメイト」・「ベビ  
ーチェア」・「おむつ交換台」の機能を男子・女子トイレになるべく分散して配置
- 既存施設について、「異性介助用の男女共用トイレ」が、スペース等の確保が出来ず設置困難な場合、  
車いす対応トイレを利用した際にプライバシーを確保できるよう、カーテンの設置を検討

### トイレ 設備仕様

- 便房には、フラッシュランプを設置
- トイレ内の新設・改修するボタンの配置は、JIS配列にて統一
- 便房扉鍵には使用有無が分かるよう、新設や改修するトイレに表示錠を設置
- 便房扉等には、便房内に何の機能が入っているか分かるようピクトグラムを表示
- 便房に新設する手すりは、壁面等とのコントラスト確保に配慮
- 新施設の車いす対応トイレ・男女共用トイレにはカーテンを設置

# サイン

## 配置 大きさ 書体

- 施設入口から観客席まで、連続した案内となるよう、施設規模に応じてサインを配置
- 総合案内板にて施設内で配置が限られる設備（カムダウン・クールダウンなど）はなるべく表示
- 機能分散したトイレ機能(ベビーチェア等)についてもなるべく早い段階で情報が入手できるように案内
- 立ち止まって見るサインや進行方向から見づらい場所に表示するサインの文字等の大きさは、ガイドラインよりも一回り大きい文字サイズとする
- 文字間隔は、誰にとっても表示内容が理解しやすいよう、意味のまとまりを考慮し調整
- 書体の選定に際しては、弱視など様々な方にとって見やすいフォントを選定

## 多言語対応 ピクトグラム コントラスト

- 日本語・英語・ピクトグラムにより設備等を表示し、名称や英訳は施設間で統一（別紙参照）
- ピクトグラムはJIS規格を採用。基準に定めのないピクトグラムは2018年10月に策定された標準案内用図記号等を施設間で統一して使用。ピクトグラムは白黒反転など周辺のコントラストを踏まえ計画
- 色や文字を用いた案内を行う場合、色弱の方が認識しやすいようコントラストを確保
- トイレと更衣室の場所を示すピクトグラムは色や文字を用いる

# その他

## 音声案内等

- 建物出入口に誘導鈴、一般トイレ出入口に簡潔な案内の音声案内を設置（観戦等に影響がある観客席に面した位置にあるトイレ等を除く）。
- 新設施設には、非常用の誘導音・点滅装置付き誘導灯を各階の階段出口等と建物出口に設置(消防上、設置できない場合を除く)

## 視覚障害者 誘導用ブロック

- 施設メインエントランスなど大会イベント時に人の配置が想定される建物入口等まで敷設し、以降、施設内は人的対応など運営による誘導を想定

## 集団補聴設備

- 観客席には集団補聴設備(磁気ループ又はFM補聴システム)をなるべく分散して配置

## カムダウン・クールダウン

- 新設施設においては、救護室が近くにないエリアには、一時的に落ち着ける、カムダウン・クールダウンを用意
- 既存施設では恒常的な設置が困難な場合に、イベント時、一時的にカムダウン・クールダウンとして利用できる会議室・スペースあり

## エレベーター 閉じ込め対策

- 新設する観客用エレベーターについては、扉へのガラス窓設置(防火上困難な場合等を除く)、監視カメラの設置、かご内外で情報共有できるパネル表示等の仕組みを導入

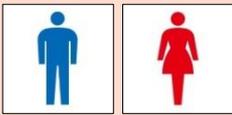
## 大型モニター

- 新設する大型モニターは全ての観客席から明瞭に見られるよう、設置できる位置や箇所数を確保

※ハード整備による対応が難しい点については、施設管理者等による適切な配慮の推進やホームページ等におけるアクセシビリティ情報の発信等ソフト面の取組で補うことができるよう、関係者間で情報共有し、連携していく

# これまでの検討結果まとめ（ピクトグラム・名称）

## <トイレ>

	ピクトグラム	名称 (日英)
1		男子/女子トイレ (Men's/Women's toilet)
2		車いす対応トイレ (Accessible toilet)
3 (※1)		男女共用トイレ (All gender toilet)
4	 簡易型(※1)	(簡易型)オストメイト用設備 (Facilities for ostomy)
5 (※1)		介助用ベッド (Care bed)
6 (※1)		ベビーチェア(Baby chair) おむつ交換(Diaper changing table) 着替え台(Changing board)
7	(便房手すり)	手すり (handrail)

## <トイレ以外の主なもの>

	ピクトグラム	名称 (日英)
1 (※1)		カームダウン・クールダウン (Calm down, cool down)
2 (※2)		ベビーケアルーム (Baby care room)
3	(車いす使用者席) ※同伴者席含む	車いす使用者席 (Accessible seat)
4	(付加アメニティ席)	優先席 (Priority seat)
5		磁気ループ (Hearing loop)
6 (※3)		更衣室(男性/女性更衣室) (Dressing room (Men/Women))

※1 「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団」が2018年10月に新たに策定した標準案内用図記号

※2 「授乳室」のピクトグラムは、JIS化を見据えた検討がなされており、今後の検討結果を踏まえ、設備に応じて適切なものを利用する。

※3 競技基準などで名称が定められている場合はこの限りではない。

# これまでの検討結果まとめ（施工イメージ：エントランス）

## ○建物入口の音声案内

- ・センサー式の誘導鈴（ピーン・ポーン）



## ○視覚障害者誘導用ブロック

- ・建物入口等まで  
（以降は人的誘導を想定）
- ・JIS規格

# これまでの検討結果まとめ（施工イメージ：コンコース）

## ○トイレ入口音声案内

・簡潔に案内

## ○サイン文字

・見やすい大きさ  
・書体・文字間隔は視認性に配慮

## ○ニーズに対応した新たな設備

## ○共通したピクトグラムの導入



男女共用トイレ  
All gender toilet



カームダウン・クールダウン  
Calm down, cool down

## ○エレベーター閉じ込め対策



かご内を確認しております。  
係員がエレベーターに向かっております。

有明アリーナ

# これまでの検討結果まとめ（施工イメージ：トイレ）

## ○便房内手すり

・背景の壁面との同化を避ける  
(事例イメージ)



(一般便房)

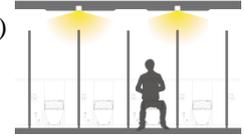


(車いす対応トイレ)

## ○フラッシュランプ設置

・災害時に白色にて警告

(事例イメージ)



## ○トイレ機能の表示

(事例イメージ)

ピクトグラムは  
白黒反転など  
周辺コントラストを踏まえ計画



## ○便房扉鍵

・使用中かどうか見て分かる

(事例イメージ)

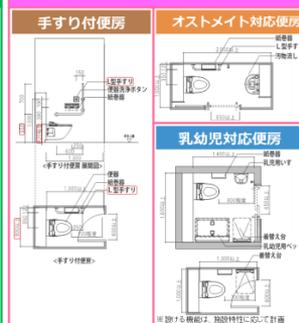


## ○その他

・トイレの機能分散



### 共用部分のトイレ



・便房内ボタンは原則JIS配列



# これまでの検討結果まとめ（施工イメージ：観客席）

## ○ 段鼻

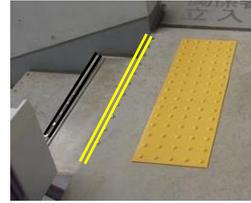
- ・コントラストを確保

## ○ 手がかり

- ・通路幅員確保できない場合除き、設置

## ○ 警告ブロック

- ・階段昇降口の幅員が狭い場合でも、ブロックを一列にするなどしてなるべく設置（狭あい部等を除く）



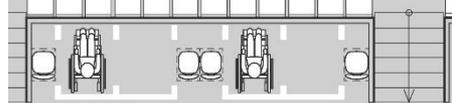
## ○ 電動車いすコンセント

- ・車いすに合わせた高さ（40cm程度）



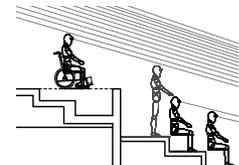
## ○ 車いす使用者席等の表示

- ・区画枠やプレートで場所・席番号表示



## ○ その他

- ・車いす使用者席の分散配置
- ・サイトライン確保
- ・磁気ループ席分散配置



# 【参考】観客席数・トイレ配置数（新施設）

	有明アリーナ	東京アクアティクスセンター	海の森水上競技場	大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場※2		有明テニスの森公園 テニス施設		カヌースラロームセンター ※2・4
				メインピッチ	サブピッチ	コロシウム※3	ショーコート	
<b>観客席</b>								
総座席数(レガシー)	約 15,000席 (観客席：1階～4階)	約 5,000席 (観客席：2階・3階)	約 2,000席 (観客席：1階・2階)	約 2,600席 (観客席：2階・3階)	約 500席 (観客席：2階・3階)	約 9,700席 (観客席：1階～3階)	約 3,000席 (観客席：1階・2階)	
車いす使用者席 (席数) (配置)	計 150席 (1.0%) 1～4階席に配置	計 52席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 24席 (1.2%) 1・2階席に配置	計 26席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 5席 (1.0%) 2階席に配置	計 98席 (1.0%) 1・2階席に配置	計 36席 (1.2%) 1・2階席に配置	
同伴者席 (席数) (配置)	計 150席 (1.0%) 1～4階席に配置	計 52席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 24席 (1.2%) 1・2階席に配置	計 26席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 5席 (1.0%) 2階席に配置	計 98席 (1.0%) 1・2階席に配置	計 36席 (1.2%) 1・2階席に配置	
優先席【付加アメニティ席】 (席数) (配置)	計 157席 (1.0%) 2～4階席に配置	計 52席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 24席 (1.2%) 1・2階席に配置	計 26席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 5席 (1.0%) 2階席に配置	計 102席 (1.0%) 1・2階席に配置	計 36席 (1.2%) 1・2階席に配置	
磁気ループ席 (席数) (配置)	計 1,520席 2～4階席に配置	計 840席 2階席に配置	計 850席 1・2階席に配置 (FM方式)	計 260席 2階席に配置	計 80席 2階席に配置	計 1,216席 2階席に配置	計 250席 2階席に配置	
<b>トイレ</b>								
機能分散状況(観客・関係者用含む)								
車いす対応トイレ設置数	25	17	16	9	4	15	6	3
男女共用トイレ設置数	14	5	2	4	2	4	2	3
手すり付トイレ設置数※1	67	20	33	25	6	39	27	8
オストメイト対応トイレ設置数※1	15	12	2	3	4	10	2	1
乳幼児対応トイレ設置数※1	11	13	6	13	16	33	9	1

※1 この他、車いす対応トイレ又は男女共用トイレ内に設置されている場合もあり

※2 パラリンピック会場としては利用予定なし。オリンピック会場としてのみ利用

※3 有明コロシウムは既存施設だが、有明テニスの森公園テニス施設として、新施設と一体で工事を進めているため、本表に記載

※4 カヌースラロームセンターは、東京2020大会時の観客席の設置は仮設整備の為、恒設整備はなし

※ 夢の島公園アーチェリー場は、東京2020大会時の観客席等の設置は仮設整備の為、恒設整備はなし

## 【参考】Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン（座席比率概要）

車いす席 : オリンピック大会会場 ⇒ 0.75%

同伴者席 : 車いす座席と同比率で設置

パラリンピック大会会場 ⇒ 1.0～1.2%

付加アメニティ席 : 1%用意することが望ましい

# 【参考】観客席数・トイレ配置数（既存施設）

	東京体育館 (メインアリーナ)		東京辰巳国際水泳競技場※1		東京スタジアム※1、2 (スタジアム棟)		武蔵野の森総合スポーツプラザ	
観客席	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後
総座席数(レガシー)	6,030席 (観客席：2階・3階)	<b>5,314席</b> (観客席：2階・3階)	3,600席 (観客席：2階・3階)	<b>3,513席</b> (観客席：2階・3階)	49,930席 観客席： 上・下層スタンド	<b>47,872席</b> 観客席： 上・下層スタンド	6,662席 (観客席：3階・4階)	<b>6,018席</b> (観客席：3階・4階)
車いす使用者席 (席数) (配置)	計 29席 2階席に配置	<b>計 55席 (1.03%)</b> 2階席に配置	計 20席 2階席に設置	<b>計 36席 (1.02%)</b> 2階席に配置	計 394席 下層スタンドに配置	<b>計 328席 (0.68%)</b> 下層スタンドに配置	計 1席 3階席に配置	<b>計 69席 (1.14%)</b> 3階席に配置
同伴者席 (席数) (配置)	設置なし	<b>計 55席 (1.03%)</b> 2階席に配置	設置なし	<b>計 36席 (1.02%)</b> 2階席に配置	設置なし	<b>計 328席 (0.68%)</b> 下層スタンドに配置	設置なし	<b>計 55席 (0.91%)</b> 3階席に配置
優先席【付加アメニティ席】 (席数) (配置)	設置なし	<b>計 16席 (0.3%)</b> 2階席に配置	設置なし	<b>計 18席 (0.51%)</b> 2階席に配置	設置なし	<b>計 72席 (0.15%)</b> 下層スタンドに配置	設置なし	<b>計 62席 (1.03%)</b> 3階・4階席に配置
磁気ループ席 (席数) (配置)	設置なし	- (FM方式を検討)	約 170席 (FM方式)	<b>約 170席</b> 2階席に配置 (FM方式)	計 224席 下層スタンドに配置	<b>計 211席</b> 下層スタンドに配置	計 138席 3階席に配置	<b>約 100席</b> 3階席に配置
トイレ								
機能分散状況(観客・関係者用含む)								
車いす対応トイレ設置数	11	<b>11</b>	5	<b>10</b>	15	<b>26</b>	9	<b>9</b>
	<b>【改修後】</b> 車いす対応トイレの利用集中を緩和する為、「手すり」・「オストメイト」・「ベビーチェア」・「おむつ交換台」の機能を男子・女子トイレになるべく分散して配置。「異性介助用の男女共用トイレ」が、スペース等の確保が出来ず設置困難な場合、車いす対応トイレを利用した際にプライバシーを確保できるよう、カーテンの設置を検討							

※1 パラリンピック会場としては利用予定なし。オリンピック会場としてのみ利用

※2 東京スタジアムについては、現在、実施設計中であるため、上記の内容については変更となる場合がある。

## 【参考】Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン（座席比率概要）

車いす席 : オリンピック大会会場 ⇒ 0.75%  
 同伴者席 : 車いす座席と同比率で設置

パラリンピック大会会場 ⇒ 1.0~1.2%  
 付加アメニティ席 : 1%用意することが望ましい